

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	ごみ集積所管理事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)	
部等名	水道環境部	課等名	環境課		包含する細々目	1	4	2	1	11	1		
政策	5人の営みと自然・環境が調和したまちづくり												
施策	56 廃棄物の減量と適正処理												
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	不要	関連計画 条例等		廃棄物の処理及び清掃に関する条例					
		事業期間		年度～	年度								

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	ごみ集積所	ごみの集積所 燃やすごみ集積所箇所	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		23年度以前に終了は終了年度とする
			1610	1625		
		ごみの集積所 埋立ごみ集積所箇所	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		
			1358	1355		
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
	ごみ集積所の適切な管理	集積所新設の数	18目標	5	最終目標	5
			18実績	10	19目標	5
		23目標	5	23実績		最終目標達成年度
		集積所移転の数	18目標	10	最終目標	10
18実績			15	19目標	10	↑
23目標			10	23実績		最終目標達成年度

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値	
	ごみの集積所の適切な運営と管理	18年度の実績	・集積所の新設、移転に伴う集積所管理の指導 ・看板の老朽化による取り替え。 ・集積所の状況に応じた、外国語(ポルトガル語、中国語、英語)看板の設置。 ・地区外等からの見分別ごみの持ち込みが多い集積所での看板撤去。	立会件数 看板作製数	50 100
		19年度計画	・集積所の新設、移転に伴う集積所管理の指導 ・看板の老朽化による取り替え。 ・集積所の状況に応じた、外国語(ポルトガル語、中国語、英語)看板の設置。 ・地区外等からの見分別ごみの持ち込みが多い集積所での看板撤去。	立会件数 看板作製数	30 100

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他	1,618	1,657
一般財源	0		
事業費計(A)	1,618	1,657	
人件費	正規職員所要時間	18年度 520	19年度 520
	臨時職員等所要時間	260	260
	人件費計(B)	2,139	2,139
	トータルコストA+B	3,757	3,796

特定財源内訳や補足事項	その他(ごみ処理手数料) その他(ごみ袋広告掲載料)
-------------	-------------------------------

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	・ごみの適正処理の推進。 ・一般廃棄物を適切に処理する。 ・ごみ減量のため3Rの推進	一般廃棄物の収集処理量	現状値		19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
		22実績		23目標		

この事業を開始したきっかけ ・ごみ集積所に排出されるごみ収集の安全且つ迅速な対応	事業を取り巻く状況の変化 ・国際化により、外国人用の集積所看板を作成し設置が必要となった。 ・分別収集する品目が増えてきた。 ・地域環境の変化により新設 ・移転の件数が増加傾向	事業に対する市民や議会の意見 ・ごみ集積所を管理するにあたり、集積所を示すことを強く要望する声のある地区と逆に集積所であることを外から判らないように望む声がある地区とがある。
---	--	--

【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？ (評価) 結びつく (その理由) ・ごみ集積所を管理し、適正処理することはごみの減量に結びつく。	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？ (評価) 余地がある (その理由) ・国際化に伴い、日本語の分からない人への配慮が必要。
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？ (評価) 必要性がある (その理由) ごみの適正処理の推進は、今後も続く問題である。		廃止・休止した場合の影響はありますか？ (評価) 影響あり (その理由) ・集積所の管理が困難となる。 ・不法投棄の増える。
	意図の見直しの必要性はありますか？ (評価) 必要性がない (その理由) ごみの適正処理の推進は、今後も続く問題である。		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む) (評価) 類似事業なし (類似事業名、理由) ・類似事業はないため統合不可能。
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか) (評価) 必要ある (その理由) ・ごみ集積所の管理は、本来市で行う業務であり関与は必要。		効率性 評価 成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？ (評価) 不可能 (その理由) ・看板は消耗品であり、更新が必要となる。また、今後は国際化に伴い外国人用の看板の必要性も高まるため削減は不可能。
		公平性 評価 受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？ (評価) 妥当である (受益者とその理由) ・ごみ集積所は市民が使用するため妥当である。	

【Plan】改革改善

今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	実施年度 <input type="text"/>	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案 ・国際化の状況を見ながら、外国人用看板について維持検討を加えていく。
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	<input type="text"/>	・外国人にも解る看板づくり。

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？	

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	